

町ぐるみで子どもを育てよう

いの町
地域ぐるみ教育

いのっ子あつまれ!



小学生スポーツ交流大会を楽しもう!

伊野南小学校、いの町野球場を会場に「いのっ子あつまれ!小学生スポーツ交流大会」が行われました。これは、伊野地区地域教育推進協議会が子どもの願いを実現させようと計画したものです。伊野地区小学生のべ120名が参加し、保護者・教職員・小中学生、高校生、地域スタッフ約60人がスタッフとして支えました。寒い1日でしたが、いのっ子の元気な交流が行われ、笑いあり、涙ありの大会となりました。

この大会に向け、枝川開発(有)、ハタダ枝川店(三宮商店)、明治牛乳伊野販売店、四国セラヴィ、四国コカコーラボトリング(株)高知西営業所の皆様から賞品を提供していただき、伊野の子どものためにご尽力くださいました。

ミニ・リレーマラソン大会

今年初めての開催に11組が参加し、1人約1 kmのコースを3人がリレーしました。沿道での声援の中、黄色のタスキをつなぎ、元気いっぱい走りました。



団体の部	第1位	伊野小チーム	
	第2位	枝川Aチーム	
	第3位	枝川Bチーム	
個人の部	6年1位	吉成 奎太	伊野小
	5年1位	村岡 秀記	神谷小
	4年1位	田上 みどり	枝川小

ソフトボール大会

ソフトボールは、2チームが参加。場内アナウンスとスコアボードも使った本格的野球場でのびのびとプレーしました。伊野南小学校の子どもが伊野小チームに入り、また、2試合目は3校の子どもが入り混じってゲームを行うなど、交流も活発に行われました。枝川アニマルズが8対1で優勝しました。



ミニ・バレーボール大会

ミニソフトバレーボールには、15チームが参加。午前中はリーグ戦、午後は6チームによる決勝トーナメントが行われました。負けて涙するシーンもあり、熱戦が繰り広げられました。優勝・枝川フラッシュ、準優勝・枝川ファイターズ、第3位・神谷Aでした。



伊野中野球部も活躍!

ソフトボール大会には、伊野中野球部が塁審や球場整備スタッフとして参加くださいました。きびきびとした動きで大会を支えてくださり、小学生のよいお手本にもなりました。



「決勝トーナメントに進んだ」

神谷小 6年 西川 美由



いよいよミニソフトバレーボール大会が始まります。1試合目は得点付けで2試合目からコートに入りました。最初の試合だったので、みんな氷のように固まってすごく動きが悪く負けてしまいました。この予選は、4試合中3試合は取らないといけなくて、1回負けたらもう後がなかったので、すごく不安でした。けれど、後の試合は勝って、ついに決勝トーナメントまできました。

相手は伊野南との試合になりました。すごく緊張しました。アタックがバシバシきたので必死で拾いました。1セット目はとられました。2セット目は、神谷がリードしていたところで笛がなったので、私たちが勝ちました。みんなの応援が力になったと思うと、うれしくて涙があふれました。

そして、枝川との試合がやってきました。私のサーブは力が入りすぎてぎりぎりコートに入ったので、秀君のお父さんが「美由ちゃん、サーブが大きいよ。」と言ってくれました。力を弱くしてみるとちゃんとコートに入ったので、秀君のお父さんのおかげやなあと思いました。サーブは入ったものの1セットは取られてしまいました。負けてしまったけれど涙は出ませんでした。

今年4月からは、中学校でまた新しい技を学んで、次の6年生に教えてあげたいなあと思いました。心に残る大切な思い出になりました。

いの町から初の県代表！

高知工高3年
(吾北中出身)
高橋豊明君

伊野中3年
土居哲也君

1月、広島市で「第10回全国都道府県対抗男子駅伝」が行われました。

吾北中出身で高知工業高校3年生の高橋豊明君と伊野中学校3年生の土居哲也君は、数々の大会で実績が認められ、高知県代表としての第5区(8.5km)、第6区(3km)を走りました。

いの町から県代表として選ばれたのは初めてのことで、2人とも堂々の走りを見せてくれました。

流水俳壇

松尾 満津於 選

「当季雑詠」

川村 博子

新玉の膳に身内の顔揃つ

(評)新玉は新年の枕詞、新玉の膳は正月のお節料理である。身内のことを「うから、

やから」というが近年は身内の顔の揃つ機会は殆どなくなつ

ている。それだけ日常の生活が都会的になつたといつとこ

である。正月はその穴埋めのとき。一年の無沙汰をこの

「顔揃つ」で一挙に成算する。和やかな集いの場には矢張り

お節料理が相応しい。身内それぞれその心が届き会える大き

さの輪に、新玉の膳が据り、向き合った身内の新春の笑顔

が育つのである。

間 浩太

デパートの鏡はみんな新春の顔

(評)作者は男性であるが、新句の対象は女性であろう。新

年最初の化粧に打向う鏡のことを初鏡というが、この句に

その初鏡の女を想像する。デ

パートの鏡は「貌」ばかりでは

なく、容貌・風貌・うわべ

外観すべてであり、鏡の「ひ

と」はみんな新春の顔。自分

自身の新春の貌を確かめなが

ら矢張り他人の春の容姿が気

にかかる。人夫々に何一つ同

じはないが、ただ、外面の容

貌でなく内面の新春の顔が共

通している。

岡本とも子

筆勢の杓寿と見えぬ賀状くる

(評)恩師であろうが、墨痕

鮮やかな年賀状、「これがま

九十才を数える人の書いた字、

何とすばらしい。」驚いた

様子がよく解る句である。

「印刷の百の文字より手書き

文字」

年賀は年に一度息災の証と

ご無沙汰のお詫びを兼ねての挨拶

ゆきで印刷文字の場合が多い。

川村千図子

笛鳴きに会ふやも知れぬ

鼓動かな

(評)「笛鳴き」、は冬に入つ

て山に雪が積む頃、夏のはじ

めに生まれた鶯の子が山から

里に下りて、チ、チ、と不完

全な鳴き方をする、春になつ

て軋るまでには少し期間のあ

る頃の鳴き方をいうのである。

鼓動はその声を聞くときの心

臓の脈打つ響。作者は一月の

流水定例会に出席するため

に街から、ふる里へ帰つて来

たが、一月とは云いながら珍

しく暖かい日和だったので、

或いは笛鳴きが聞けるかも……

伊藤 たみ

梵鐘の余韻冬野を生みにけり

竹崎 光子

愛らしき姿になりたし

なすな粥

中屋 桜子

成らぬ夢成らしてみせたや

去年今年

川上こよね

合併なる新春の詩浮いて来い

筒井 眉躬

健やかを七種粥で温めけり

渡辺万利子

村消えて新町の初日の出

川村 愛

初しぐれ大荒れに荒れ

世の不穩

弘瀬うき子

初詣いちいの梢鳥の声

満津於

ジャンケンに敗けて閉けり

隙間風

次題「当季雑詠」

3月25日締切「五句」



問い合わせ・提出先

吾北教育事務所

いの町上八川甲2010

☎ 867 2133